

## 2（1） 環境回復プロジェクト

県民のふるさとへの一刻も早い帰還や安心して生活できる環境の確保に向け、放射性物質に汚染された生活圏、農地、森林などの徹底した除染及び汚染廃棄物の円滑な処理により、美しく豊かな県土が回復するための取組を進める。

また、流通・消費における安全を確保し、県内で生産された食品が安心して消費されるようにするため、農産物など食品の検査体制強化及び安全・安心に関する情報提供などの取組を進める。

（単位：千円）

### ①除染の推進

#### ー全県におけるモニタリングの充実・強化ー

#### 1 緊急時・広域環境放射能監視事業（生活環境部 放射線監視室） 2,183,843

福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の拡散に対する環境監視を行うとともに、測定結果を広く公表する。

#### ー生活圏等における除染の推進ー

#### 2 市町村除染対策支援事業（生活環境部 除染対策課） 200,066,529

県土の除染を迅速に進めていくため、市町村が策定する除染実施計画による除染の実施を総合的に支援するとともに、市町村が町内会と協働により実施する等の線量低減活動を支援する。

#### ー農林地等の除染ー

#### 新3 ため池等放射性物質対策事業（農林水産部 農地管理課） 645,000

ため池の放射性物質対策を行う市町村を支援するため、汚染状況のモニタリング調査や技術実証を行う。

### ②食品の安全確保

#### 1 自家消費野菜等放射能検査事業（生活環境部 消費生活課） 1,104,812

原子力発電所事故により食品等の安全・安心の確保に対する消費者の関心が高まっていることから、消費者の身近な場所で食品等の放射能検査を行う。

#### 2 チャレンジくしま消費者風評対策事業（生活環境部 消費生活課） 165,879

食と放射能に関して、県内外の消費者が不正確な情報や思い込みに惑わされることなく、自らの判断で食品の選択ができるよう、「食と放射能の理解促進」を主眼とする手法により風評払拭や風評の拡大防止に資する取組を実施・支援する。

### ③廃棄物等の処理

#### 1 避難区域内化学物質等処理促進事業（生活環境部 産業廃棄物課） 4,500,000

帰還困難区域の工場内に残置された化学物質の漏えい等による周辺環境への影響を未然に防止するため、これら化学物質の処理・処分等を行う事業者に対して必要な経費を補助する。

**2 中間貯蔵施設立地町地域振興交付金（生活環境部 中間貯蔵施設等対策室） 5,000,000**

中間貯蔵施設に関して、大熊町及び双葉町が、地権者支援を始め地域振興に必要な課題に迅速に対応できるよう、交付金を交付する。

**④拠点の整備**

**1 環境創造センター整備事業（生活環境部 環境創造センター整備推進室） 7,051,984**

放射性物質により汚染された環境を回復し、県民が将来にわたり安心して暮らせる環境を創造するため、除染技術の研究や環境放射能のモニタリング等を実施する中核施設として、環境創造センターを整備する。

**※環境回復の前提となる廃炉に向けた安全監視**

**1 原子力安全監視対策事業（生活環境部 原子力安全対策課） 112,955**

福島第一原子力発電所の安全確保のため、専門家や住民の参画による監視体制により、廃炉にむけた取組を確認する。

**2 原子力災害対策センター整備事業（生活環境部 原子力安全対策課） 2,178,072**

福島県原子力災害対策センター（大熊町）は、使用が困難な状況にあるため、放射線防護、通信回線の強化、機能スペースの確保対策等を講じた新たな拠点施設の整備を行う。

	事業数	事業費（千円）
本資料に掲載した事業	10	223,009,074
その他の事業	16	28,526,937
合計	26	251,536,011